

### 株主の皆様へ



代表取締役社長  
藤井 宗徳

株主の皆様には、平素より当事業へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第54期（2025年4月1日～2026年3月31日）の事業概況をご報告申し上げます。

第54期における連結売上高は、前期比27.4%増の325億72百万円となり、5期連続の増収及び過去最高となりました。損益面では、連結営業利益は同6.9%減の27億90百万円、連結経常利益は同6.3%減の28億57百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は同4.7%減の20億3百万円となりました。一方で、EBITDAにつきましては、同0.8%増の35億69百万円となり過去最高となりました。

液卵事業におきましては、販売数量は前期比2.1%増の6.6万トンと過去最高を記録いたしました。これは、東日本を中心とした鶏卵不足の中、鶏卵の調達力と液卵の供給力に強みを持つ当社への注文が増加したことに加え、他の液卵メーカーからのOEM受注の増加、外食向け、総菜向けの販売数量の増加等によるものです。売上高は、販売数量の増加や販売単価の改定等により、同28.7%増の304億82百万円となりました。セグメント利益は、設備投資の推進等に伴う減価償却費の増加等により、同7.3%減の26億95百万円となりました。

調味料事業におきましては、既存得意先への販売が減少したこともあり、売上高は同5.6%減の12億67百万円となりました。セグメント利益は、売上高の減少及び顆粒ラインの増設工事に伴う修繕費の増加等により、同1.7%減の89百万円となりました。

オーガニックEC事業におきましては、冷凍フルーツの販売の増加等により売上高は8億77百万円となりました。セグメント利益につきましては、のれんの償却額62百万円の計上等により5百万円となりました。なお、2024年7月から連結を開始したため、前期比較は行っておりません。

今後につきましては、中長期的な成長戦略として、液卵事業においては2030年度に販売数量8万トン、業界シェア20%の達成を目標としております。その実現に向け、次期は製品供給能力の強化を目的とした約24億円の設備投資を計画しております。また、優秀な人材確保と定着、育成のための人的資本投資として、初任給の引き上げ、正社員1人当たり月額1万円のベースアップ、及び5.8%の昇給を実施しております。

当社は今後も、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年6月

### 配当について

当社は株主の皆様に対する適切な利益還元を重要な経営目標としております。また一方で、市場シェアや販売数量の向上を図るための生産設備、人的資本等への投資も必要と考えております。配当方針として、連結ベースで配当性向25～30%を目標としております。

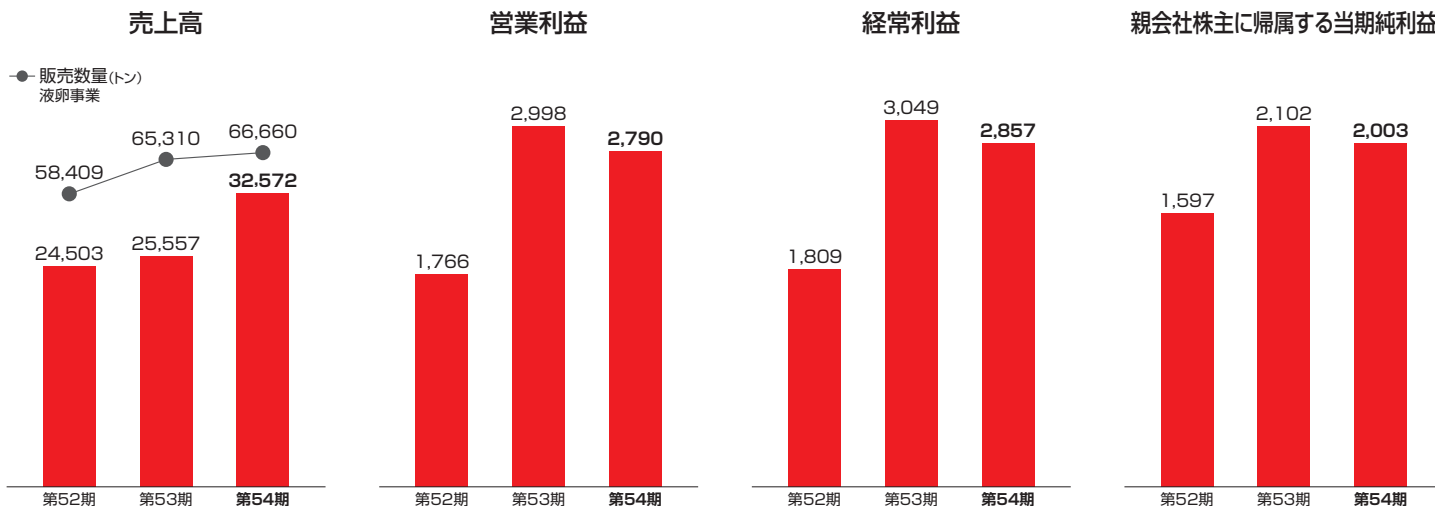
第54期の期末配当は、当初の見通しどおり1株当たり35円とさせていただきます。

第55期の配当につきましては、通期で2円増配となる69円（中間配当33円、期末配当36円）を予定しております。

	第52期	第53期	第54期
1株当たり当期純利益（円）	193.49	254.66	245.90
1株当たり配当金（円）	48	66	67

### 連結決算の概要

(百万円)



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	前期末 (2025年3月31日現在)	当期末 (2026年3月31日現在)	科目	前期末 (2025年3月31日現在)	当期末 (2026年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	9,967	10,921	流動負債	4,549	4,833
現金及び預金	4,055	3,508	固定負債	1,038	1,471
受取手形及び売掛金	3,911	3,928	負債合計	5,588	6,305
その他	2,000	3,485	<b>純資産の部</b>		
固定資産	6,782	8,004	株主資本	11,096	12,539
有形固定資産	6,039	7,274	資本金	455	455
無形固定資産	466	412	資本剰余金	414	422
投資その他の資産	276	317	利益剰余金	10,523	11,939
資産合計	16,749	18,925	自己株式	△297	△279
			その他の包括利益累計額	64	81
			その他有価証券評価差額金	64	81
			純資産合計	11,161	12,620
			負債純資産合計	16,749	18,925

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	前期 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)	当期 (2025年4月1日～ 2026年3月31日)
売上高	25,557	32,572
売上原価	19,488	26,668
売上総利益	6,069	5,903
販売費及び一般管理費	3,071	3,113
営業利益	2,998	2,790
営業外収益	69	97
営業外費用	18	30
経常利益	3,049	2,857
特別損失	20	0
税金等調整前当期純利益	3,028	2,857
法人税、住民税及び事業税	827	875
法人税等調整額	97	△20
親会社株主に帰属する当期純利益	2,102	2,003

（注）百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 持続的な成長に向け、従業員が最大限の力を発揮できる環境へ

企業成長の源泉は従業員の活力にあると考え、働きやすい職場環境の整備など「健康経営」に力を入れています。この姿勢が評価され、「健康経営優良法人2026」の連続認定や「DBJ健康格付2025」の取得に至りました。今後も従業員への健康配慮を深め、一人ひとりが能力を存分に発揮できる企業を目指します。



※なお、各評価制度は評価期間及び表記年度が異なるため、認定・格付の年号に違いがありますが、いずれも当社の2025年時点の取り組みを評価いただいたものです。

## 新着情報のご案内

2026/05/06	一般	2026年3月期の決算について掲載されました。（読売新聞オンライン5月8日）
2026/05/03	一般	5月7日の日本経済新聞 電子版に掲載されました。「イフジ産業の27年3月期、純利益1%増 液状販売3%増の過去最高」
2026/05/03	一般	たまご価格「やや下がる」見送りせず「液状」イフジ産業 売上高が過去最高 福岡 FBS福岡放送
2026/05/03	一般	「今後価格は落ちる」液状で国内シェアトップ「イフジ産業」売上高が過去最高に 前の平均価格の高騰が売上を後押し 福岡 RKB毎日放送
2026/05/03	一般	2026年3月期決算説明会(オンライン)の開催（2026年5月25日）
2026/05/02	一般	2026年3月期 決算短信を掲載しました。
2026/05/02	一般	8年連続のベースアップ等を実施し、平均5.8%の給与水準引き上げを実施
2026/05/01	一般	【2026年版「すごい企業」100社リスト】に掲載されました。（週刊東洋経済2026年4月24日）
2026/04/26	新着記事	イフジの設備稼働率を刷新しました。
2026/04/20	一般	安定供給の信頼で業績 売上高は300億円を突破（ふくおか経済EX2026）

IRや採用の情報に加え、新聞や雑誌、テレビ等で取り上げられた様々なニュースやトピックスをホームページの新着情報欄に掲載しております。ぜひご覧下さい。



## 会社概要（2026年3月31日現在）

商号	イフジ産業株式会社 (英文商号：Ifuji Sangyo Co., Ltd.)
設立年月日	1972年10月3日
資本金	4億5,585万円
本社所在地	〒811-2318 福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号 TEL 092-938-4561（代表）
従業員数	135名（臨時従業員の期中平均雇用人数 354名）
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 福岡証券取引所 本則市場
グループ会社	日本化工食品株式会社 HORIZON FARMS株式会社
ホームページ	イフジ産業 <a href="https://www.ifuji.co.jp/">https://www.ifuji.co.jp/</a> REVOPRO® <a href="https://revopro.jp/">https://revopro.jp/</a>

### 株式のお知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。  
未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

役員	代表取締役社長	藤井 宗徳
(2026年6月25日現在)	常務取締役	池田 賢次郎
	常務取締役	原 敬
	取締役	本司 義博
	取締役(社外)	川原 正孝
	取締役 常勤監査等委員	三宅 史員
	取締役(社外) 監査等委員	中川 正裕
	取締役(社外) 監査等委員	榎本 美穂
	取締役(社外) 監査等委員	上村 勝則